

報道関係各位

# 流行らない「流行語」？

「国民的流行語」と「界隈的流行語」が明らかに！  
応用社会心理学研究所『「流行語は流行していない？」アンケート』より

社会心理学で組織の課題解決を支援するシンクタンク、株式会社応用社会心理学研究所では、このたび、【2025年新語・流行語】※1に関する調査をおこないましたことをお知らせいたします。

この賞について、「流行語って言うけれど知らない」という声も近年多く聞かれていました。また、最近の流行語はコミュニティによって違い、「国民的流行語」の存在が難しくなっているとされています。実際はどのようなのでしょうか？ 約1000人への調査で明らかにしました。

調査結果の一部をここにご紹介します。

※1：＜第42回2025年「現代用語の基礎知識」選 T & D保険グループ 新語・流行語大賞＞にノミネートされた30語

## 調査結果のポイント

### ●「流行語」なのにみんな知らない？

- ・ノミネート流行語30語のうち半分（15個）以上知らない人が全体の約35%
- ・知っていると思う語は平均約17個、流行ったと思う語は平均約13語だけ

### ●「知らない」「流行っていない」「使っていない」流行語ランキング！

- ・「知らない」「流行っていない」「使っていない」第1位は「おてつたび」
- ・流行感約9割の「物価高」から約1割の「おてつたび」まで流行語の明暗わかれる

### ●「流行」っていったい何？

- ・知っているけれど流行ったとは思えない言葉も多い！？ 30語中8語は認知度と流行感のギャップ度が20%ポイントを超える。ギャップ第1位「薬膳」はギャップ度52%ポイント
- ・流行っても自分では使わない。ギャップ第1位は「エッホエッホ」ギャップ度40%ポイント

### ●「流行った」のは自分の周りだけ！？ 流行語にこんなに差がある

- ・「流行感」男女差第1位は「ラブブ」34%ポイント差
- ・「流行感」世代差第1位は「チョコミントよりもあ・な・た」46%ポイント差
- ・「流行感」オールドメディア派とSNS派 差第1位は「エッホエッホ」42%ポイント差

### ●「国民的流行語」と「界隈的流行語」 流行語にも反映された社会的分断

#### お問い合わせ先

株式会社応用社会心理学研究所 担当：田中・山本・義川  
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F  
Tel 06-6941-2171 Fax 06-6941-2081  
<http://www.aspect-net.co.jp>

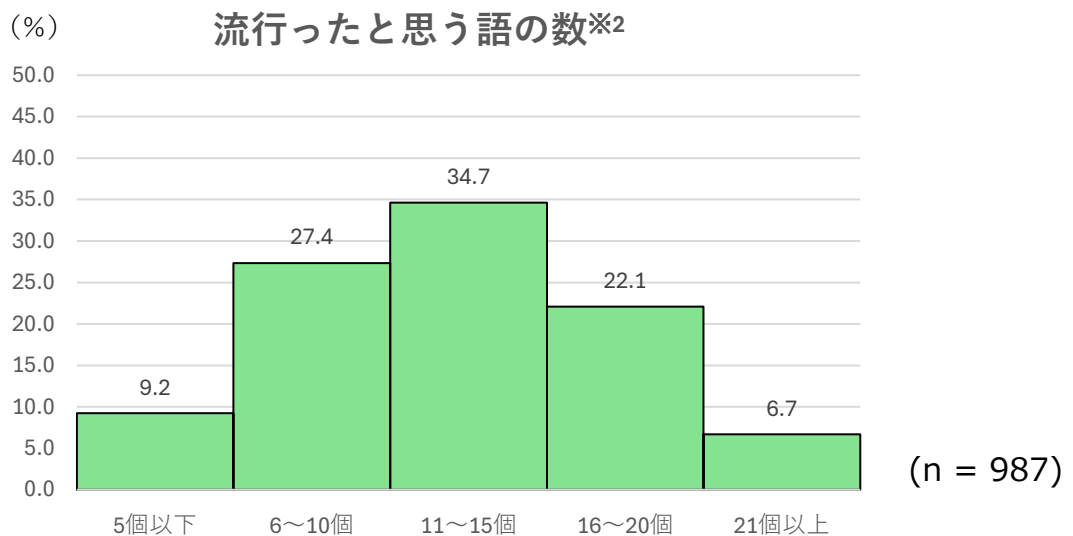
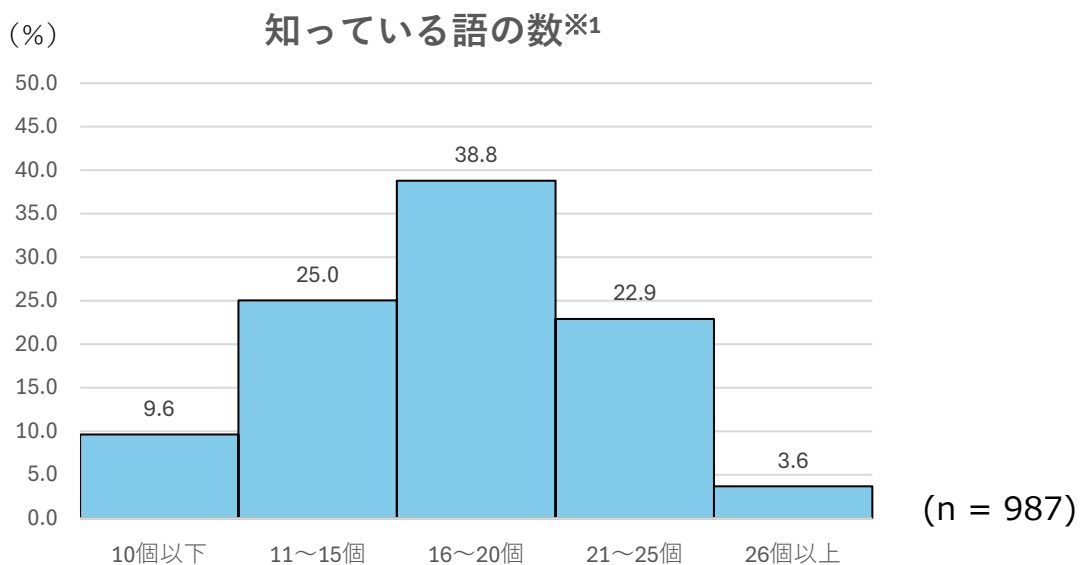


株式会社 応用社会心理学研究所  
Institute of Applied Social Psychology rconnect

## 流行語なのにみんな知らない？ 流行ったと思う言葉、30語中の半分もない！

流行語大賞ノミネート30語のうち、「知っている」と答えた語の数は全体平均約17個。全体の半分以上知らない人が約35%もいます。

「流行ったと思う」と答えた語の数は全体平均約13語。一般の方々にとって、ノミネートされた言葉の半数以上を「流行ったと思えない」言葉が占めています。



※1：「よく知っている」または「少し知っている」という回答の個数

※2：「非常に流行ったと思う」または「まあまあ流行ったと思う」という回答の個数



# 「流行」っていったい何？

## 「知っているけど流行ったとは思えない」

## 「流行ったけど使わない」言葉がいっぱいありました！

ノミネート30語中8語は認知度と流行感の差が20%ポイントを超え、ギャップ第1位の「薬膳」のギャップ度はなんと52%ポイント。知っているけど、流行ったっけ？と頭をひねる人が多いそうです。「認知度」と「使用度」の差が20%ポイントを超えるものは30語中13語。ギャップ第1位「エッホエッホ」のギャップ度は40%ポイントという結果に。流行ったと言いつつ、使っているのは一部の人ののかもしれません。

### 知っているけれど流行ったと思わない言葉ランキング (n = 987)

知っているけれど流行ったと思わない言葉ランキング (n = 987)		認知度	流行感	ギャップ度 (認知度-流行感)
1位	薬膳	74.3%	22.6%	51.7%
2位	企業風土	53.2%	15.9%	37.3%
3位	戦後80年／昭和100年	82.0%	44.9%	37.1%
4位	フリーランス保護法	42.9%	14.7%	28.2%
5位	教皇選挙	44.0%	16.7%	27.3%
6位	働いて働いて働いて働いて働いてまいります／女性首相	84.2%	57.0%	27.2%
7位	リカバリーウェア	57.6%	35.2%	22.5%
8位	麻辣湯	57.2%	35.5%	21.8%
9位	オンカジ	63.1%	45.9%	17.2%
10位	ひょうろく	34.5%	17.8%	16.7%

### 流行ったけれど使わない言葉ランキング (n = 987)

流行ったけれど使わない言葉ランキング (n = 987)		流行感	使用度	ギャップ度 (流行感-使用度)
1位	エッホエッホ	60.3%	19.9%	40.4%
2位	国宝（観た）	68.3%	29.7%	38.6%
3位	働いて働いて働いて働いて働いてまいります／女性首相	57.0%	19.5%	37.6%
4位	トランプ関税	79.9%	44.2%	35.8%
5位	古古古米	82.8%	49.5%	33.2%
6位	オンカジ	45.9%	14.4%	31.5%
7位	ミャクミャク	82.5%	51.4%	31.1%
8位	ラブブ	50.4%	20.2%	30.2%
9位	緊急銃猟／クマ被害	85.8%	57.6%	28.2%
10位	チョコミントよりもあ・な・た	44.8%	19.9%	24.9%
11位	戦後80年／昭和100年	44.9%	23.0%	21.9%
12位	オールドメディア	47.8%	26.3%	21.5%
13位	ビジュイイじゃん	48.9%	28.1%	20.9%

※表中の値について

認知度：各語について「よく知っている」または「少し知っている」と回答した人の割合

流行感：各語について「非常に流行ったと思う」または「まあまあ流行ったと思う」と回答した人の割合

使用度：各語について「よく使う」または「時々使う」と回答した人の割合

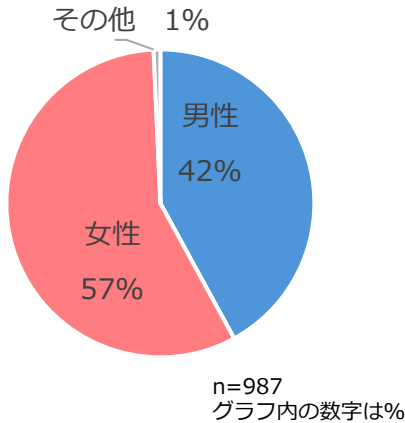
# 「流行った」のは自分の周りだけ！？ 流行語にこんなに差がある！

男女編

男性よりも、女性の方が知っている・流行ったと思う語の数が多く、おおよそ女性の方がノミネット語にピンと来ていそうです。

女性だけで流行ったのが「ラブブ」「ビジュいいじゃん」男性だけで流行ったのが「オールドメディア」。特に芸能関係の話題には女性の方が敏感そう。

回答者における性別の割合



新語・流行語30単語中  
「知っている」「流行ったと思う」  
「使っている」単語数の平均

	男性	女性
認知度 知っている＋ 少し知っている	16.3	18.0
流行感 非常に流行ったと思う＋ まあまあ流行ったと思う	11.1	13.6
使用度 よく使う＋時々使う	6.8	7.5

流行感  
性別間ギャップランキング

流行感：女性＞男性

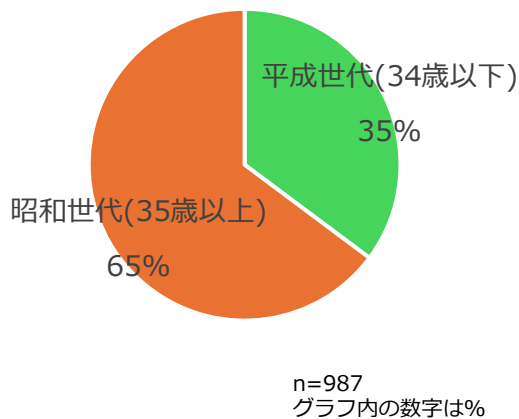
流行感：女性＜男性

順位	新語・流行語	男性 流行感 n=415	女性 流行感 n=565	流行感のギャップ 男性と女性の差
1位	ラブブ	30.8%	65.1%	34.3%
2位	ビジュいいじゃん	29.9%	63.0%	33.1%
3位	ぬい活	14.0%	46.5%	32.6%
4位	平成女兒	8.4%	40.5%	32.1%
5位	エッホエッホ	47.5%	70.1%	22.6%
6位	国宝（観た）	55.9%	77.5%	21.6%
7位	麻辣湯	23.1%	44.6%	21.5%
8位	チョコミントよりもあ・な・た	33.0%	53.5%	20.4%
9位	オールドメディア	58.8%	39.6%	19.1%
10位	チャッピー	29.4%	46.2%	16.8%
11位	働いて働いて働いて働いて働いて まいります／女性首相	48.4%	63.7%	15.3%
12位	7月5日	21.7%	35.8%	14.1%
13位	薬膳	15.2%	28.0%	12.8%
14位	トランプ関税	87.0%	74.5%	12.5%
15位	ミyakミyak	75.9%	87.3%	11.4%
16位	リカバリーウェア	28.9%	39.6%	10.7%
17位	オンカジ	51.8%	41.4%	10.4%
18位	企業風土	20.5%	12.4%	8.1%
19位	ほいたらね	6.3%	11.9%	5.6%
20位	卒業証書19・2秒	24.3%	19.1%	5.2%
21位	古古古米	80.5%	84.2%	3.8%
22位	緊急銃弾／クマ被害	87.7%	84.4%	3.3%
23位	長袖をください	14.7%	17.7%	3.0%
24位	戦後80年／昭和100年	43.4%	45.8%	2.5%
25位	二季	26.0%	24.1%	2.0%
26位	ひょうろく	16.9%	18.8%	1.9%
27位	教皇選挙	15.7%	17.5%	1.9%
28位	おてつたび	5.3%	6.7%	1.4%
29位	物価高	90.4%	89.6%	0.8%
30位	フリーランス保護法	14.5%	14.9%	0.4%

# 「流行った」のは自分の周りだけ！？ 流行語にこんなに差がある！ 世代編

知っている数はあまり変わらないけれど、「流行ったと思う」数は平成世代が多いです。  
平成世代だけで流行ったのは「チョコミントよりもあ・な・た」「エッホエッホ」昭和世代だけで流行ったのは「リカバリーウェア」「オールドメディア」。  
若者とは話が合わない……などと言ってしまうのも仕方ない？

回答者中における世代別割合



新語・流行語30単語中  
「知っている」「流行ったと思う」  
「使っている」単語数の平均

	平成世代	昭和世代
認知度 知っている＋ 少し知っている	17.6	17.1
流行感 非常に流行ったと思う＋ まあまあ流行ったと思う	<b>13.9</b>	11.8
使用度 よく使う＋時々使う	7.3	7.2

流行感  
世代間ギャップランキング

流行感：平成世代＞昭和世代

流行感：平成世代＜昭和世代

順位	新語・流行語	平成世代 流行感 n=347	昭和世代 流行感 n=640	流行感のギャップ 平成世代と昭和世代の差
1位	チョコミントよりもあ・な・た	74.4%	28.8%	<b>45.6%</b>
2位	エッホエッホ	84.7%	47.0%	<b>37.7%</b>
3位	ビジュイイじゃん	72.6%	36.1%	<b>36.5%</b>
4位	平成女兒	49.9%	14.5%	<b>35.3%</b>
5位	ラブブ	72.3%	38.4%	<b>33.9%</b>
6位	チャッピー	56.8%	29.2%	<b>27.6%</b>
7位	麻辣湯	50.7%	27.2%	<b>23.5%</b>
8位	リカバリーウェア	23.6%	41.4%	17.8%
9位	オールドメディア	37.8%	53.3%	15.5%
10位	ぬい活	42.7%	27.3%	15.3%
11位	長袖をください	24.8%	11.9%	12.9%
12位	卒業証書19・2秒	13.8%	25.5%	11.6%
13位	トランプ関税	72.9%	83.8%	10.8%
14位	働いて働いて働いて働いて働いて まいります／女性首相	63.4%	53.6%	9.8%
15位	ひょうろく	23.9%	14.5%	9.4%
16位	7月5日	35.7%	26.4%	9.3%
17位	物価高	84.1%	93.1%	9.0%
18位	国宝（親た）	73.8%	65.3%	8.5%
19位	古古古米	77.5%	85.6%	8.1%
20位	戦後80年／昭和100年	39.8%	47.7%	7.9%
21位	企業風土	11.0%	18.6%	7.6%
22位	フリーランス保護法	10.1%	17.2%	7.1%
23位	緊急銃猟／クマ被害	83.9%	86.9%	3.0%
24位	ミャクミャク	83.6%	81.9%	1.7%
25位	二季	23.9%	25.5%	1.5%
26位	薬膳	21.6%	23.1%	1.5%
27位	ほいたらね	10.1%	9.1%	1.0%
28位	オンカジ	45.2%	46.3%	1.0%
29位	おてつたび	5.5%	6.4%	0.9%
30位	教皇選挙	16.4%	16.9%	0.4%





## まとめ

## 「国民的流行語」と「界隈的流行語」 流行語にも反映された社会的分断

日本のほとんどの人が知っていて、「流行った」と感じている、いわゆる「国民的流行語」。今回は「物価高」や「緊急銃猟／クマ被害」「ミャクミャク」などが該当しそうです。今年はこれらが受賞を取るのでしょうか？

一方で、性別や世代、利用メディアなど「流行った」感が大きく違うものもありました。これらは、一部界隈で爆発的にヒットしている「界隈的流行語」と言えます。背景には、メディアによってトピックの取り上げ方が異なることや、属性によって広告を出し分けするターゲット広告などの影響がありそうです。

現代では、人々の所属するコミュニティや接する情報が多様になり、どんな環境でどんな人やメディアと関わっているのか、人による違いがどんどん大きくなっているようです。**各コミュニティ内だけで固有の考え方が共有され社会が分断していく**ことで、「誰にでも売れるヒット商品が生まれにくい」「政治的思想の違いによって対話が困難になる」といった社会的現象がうまれています。

流行語への反応を眺めると、**流行語にも現代社会の状況が反映されている**ようです。

### 国民的 流行語

物価高

緊急銃猟／クマ被害

ミャクミャク

古古古米

など

日本のほとんどの人が知っていて、属性に偏らず「流行った」と感じている

### 界隈的 流行語

ラブブ

ビジュイイじゃん

チョコミントよりもあ・な・た

エッホエッホ

など

性別や世代、利用メディアなどで大きく「流行った」感が違う

今回私たちは流行語を通して、社会が分断されている状況の一端を明らかにしました。応用社会心理学研究所は、人の行動や社会状況の背景や構造を明らかにすることで、様々な社会問題にアプローチしています。



# 『“「流行語は流行していない？」 アンケート』

## 【調査概要】

調査日：2025年11月21日～25日

調査機関（調査主体）：株式会社応用社会心理学研究所

調査対象：日本在住・日本語話者

回答回収数：1000人

有効回答数：987人（不真面目な回答や重複回答を削除するデータクリーニングを行った）

調査方法：クラウドワークスで回答者を募り、オンライン上でアンケートへの回答を求めた。

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
男性	5.6%	12.2%	13.1%	7.2%	4.1%
女性	15.7%	16.7%	16.3%	6.1%	2.4%
その他	0.7%				

## （株）応用社会心理学研究所の活動

応用社会心理学研究所は、1987年、社会心理学者が集まって設立したシンクタンクです。初代代表の廣田君美（第17・18期 日本社会心理学会理事長）のもと、若手研究者が社会心理学をアカデミア以外でも広く活用するという強い思いで発足しました。社会心理学を応用した独自のノウハウ(行動モデル)を提供することで、企業や地方公共団体、学校法人などのマーケティングや組織運営の課題を解決しています。

## 【転載・引用に関する注意事項】

本リリースの内容を転載・引用される場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。  
また、転載・引用した資料には、出典として「応用社会心理学研究所」と必ず明記してください。

□□ “「流行語は流行していない？」 アンケートに関するお問い合わせ □□

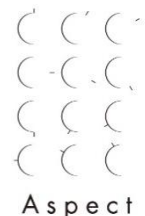
株式会社応用社会心理学研究所 担当：田中・山本・義川

Tel 06-6941-2171 Fax 06-6941-2081

Email [mtanaka@aspect-net.co.jp](mailto:mtanaka@aspect-net.co.jp)

住所 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F

HP <http://www.aspect-net.co.jp>



リリースではわかりやすさのため、実際の調査とは表現を変えているところがあります。  
調査上の実際の項目の表現などを確認されたい場合は、上記までお問い合わせください。